

頼高市長のあったか市政を問う

一般質問

9月定例会では26・27・28日の3日間で14人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。



議長
今井良助



一般質問

梶原秀明 議員

中小商店の支援で 商店街の活性化を



10月18日にオープンしたワンディシェフレストランぱらっと

議員 まち連・商店会等と連携し、活性化に努めている。営業時間の規制はできないが、大型店と商店街が協働できるような支援をする。

議員 ワンディシェフレストランやあき店舗対策など成果が出ており、その発展を期待する。中小商店の跡継ぎや開業を促すためのいっそうの支援を求める。

生活道路の 計画的修繕を

都市整備部長 修繕の必要性が最も高いCランクの道路は、平成14年度7千600メートル、23年度以降3千メートル残っている。新たに21年度450メートル、22年度240メートルを設定した。

議員 破壊の大きい5路線（北町・中央・塚越）の生活道路を、計画に盛り込んでもらいたい。

都市整備部長 現場をよく見て生活道路についても修繕に向けて検討したい。

ひとり親世帯の 家賃助成制度



かじわら ひであき

議員 家賃6万円以上へも補助を実施できないか。最近の申請件数はどうか。

健康福祉部長 影響額を見ての判断、今後の検討課題だ。新規申請は平成20年度4件、21年度12件、22年度1件、23年度2件と減少している。多くは非課税から課税に変わったのが背景にある。

議員 家賃助成は非課税が対象であるが、非課税の母子世帯の給与収入はどれほどか。

健康福祉部長 給与収入換算では204万4千円未満。

議員

収入204万円の家賃月7万円払つと残り120万円くらいは大変厳しい。せめて家賃上限7万円まで拡充できないか。

健康福祉部長 今の制度に人数規定がないので、世帯人数も考慮して対応を考えたい。

ほかに「見沼代用水の管理の長期的対策」について質問。

安心歩行エリアと交通安全について

議員 安心歩行エリアが塚越地区に指定され、3年経過しているが、進捗状況はどうか。

市民生活部長 蕨警察署や県土整備事務所と道路標示塗装などの対策を行っているほか、その他の箇所についても警戒標識の建てかえや道路標示塗装を行うなど、塚越地区における交通安全施設整備を行っている。

議員 今年度及び今後の予定はどのようか。

市民生活部長 蕨警察署とも協議しながら、引き続き、道路標示塗装の整備や植栽の剪定などを継続的に行う。

交通安全対策の強化を

議員 二輪車、自転車による事故が多いが、特化した啓発活動が必要ではないか。また、重点的な警察による活動を要請するべきではないか。

市民生活部長 本市独自の取り組みとしては、6月10日を自転車無灯火ゼロの日と定め、



自転車無灯火ゼロの日に行われた交通ルール遵守の呼びかけ運動

交通ルール遵守に対するキャンペーン等を実施した。そのほかにも9月26日には、自転車安全利用の日キャンペーンと題し、蕨駅前で反射材やチャリシを配布するなど、引き続き啓発に努めたい。また、警察に対しても、交通違反者に対する指導、取り締まり強化を依頼し、交通事故から市民を守るようお願いしたい。

議員 町会や子ども会育成会に働きかけて、対象の方たちが多く集まることでの啓発



ひき こうじ

を考えていただきたい。

公園・ちびっこ広場の管理体制について

議員 自主管理団体が運営している公園、広場はどれほどあるのか。

都市整備部長 46カ所の公園のうち34カ所、20カ所のちびっこ広場のうち12カ所あり、定期的な清掃、除草、樹木へのかん水など実施していただき、地域における公園を育てる活動に結びついている。

議員 フラワーセンターの花苗頒布の活用を図る運動や、自主管理団体に替わる管理体制の整備が必要と考えるがどうか。

都市整備部長 フラワーセンターから頒布された花苗を公園などの花壇やプランターに植栽していただくとともに、日常的な管理をしていただいている。管理体制については、公園を核とした花いっぱい運動活動の今後の進捗状況を見きわめながら検討したい。

あつたか市政を問う

児童・生徒のために学校トイレの環境改善を

議員 学校トイレの衛生面や臭気問題の改善のために、男子トイレを少なくとも1回ごとに水を流すフラッシュバルブ方式にできないか。また、昨今の生活習慣の状況から和式便器だけでなく、和洋併設が望ましいのではないか。

教育部長 今後、学校トイレの大規模な質的整備を行う必要があると認識はしている。現在、児童・生徒の安全・安心を最優先に考え、耐震化を進めているので、多額の費用を要するトイレの大規模改修については研究していきたい。

議員 以前は毎月1回行われていた業者によるトイレ清掃が、現在は経費削減のために



掃除用具入れがないなど、環境整備が望まれる学校トイレ（中央東小）

ういった方々のために、毎週でなくともいいと思うが、休日講習を開く考えはないか。

消防長 普通救命講習休日実施については、平成24年4月から年数回を講習日として対応したいと考えている。また、他の休日についても受講生10名程度が集まれば、できる限り要望に沿う対応をしたいと考えている。

AEDの効果的活用のために

議員 プロサッカー選手の痛みまし事故の影響からか、AEDに対する意識が高くなつたように思われる。普通救命講習に関しては、出前講座と毎週水曜日の消防署での講習が行われているが、平日の受講が困難な方も多くいる。そういった方々のために、毎週でなくともいいと思うが、休日講習を開く考えはないか。

学校図書館教育の充実を

議員 学校図書バーコード管理するようになると、どんな本がよく読まれているかの統計も取りやすく、ニーズに合った本をそろえていける。また、学校の本の貸し借りなどにも柔軟に対応できるように効果期待できる学校図書管理システムを導入する考えはないか。



まえかわ やすえ

「北町地区の子どもたちのために」と、驚愕の金字塔1億円市へ寄附！



蕨市に1億円の寄附をしていただいた佐野さんご夫婦

議員 私自身、佐野さんと市との橋渡しをした立場だが、かつてない1億円の寄附行為についてどのように受け止めているのか見解を伺いたい。

総務部長 佐野様ご自身の体験により、少しの援助が子どもたちに大きな力を与えることを知り、大人になったら自分にもできることをしたいと思いつけていたという寄附に込められたふさと「蕨」への思い、そして、地元の子ど

もたちへの思いに対し、これまでにない感動を覚え、ここに改めて心からの感謝を表す次第である。

議員 近く佐野さんの名前を冠した基金を創設したいとのことだが、その名称と基金設定時期はいつ頃か。

総務部長 佐野様のお名前を冠することはもちろん、子どもたちのために活用する基金として設置したい。また、設置時期については、今年度中に基金条例案を議会に上程できよう準備を進めたい。

議員 1億円の使途については現時点でどう考えているか。

総務部長 佐野様の意向を踏まえつつ、今年度中を目途に最も有効な使い道を検討する。

（仮称）蕨市債権管理条例の制定について

議員 債権の回収及び整理を行う上で総合的かつ計画的に推進するために必要な事項及び全庁統一的な債権管理のルールを定めた蕨市債権管理



いちのせき かずいち

条例を制定する考えはないか。

総務部長 条例の形式にはとらわれず実効性を考慮し、その分マニュアルによって債権管理に関する事務処理の基準など所管課職員が円滑に事務を執行できるようにしたい。

災害用トイレの整備について

議員 災害時のトイレ問題は、被災者にとって緊急かつ生命や健康にも及ぼす重要な課題であり、市はどう認識しているのか。

市民生活部長 食事や水分補給とともに、避難所等で健全な生活をするためにトイレの適切な確保が大変重要な課題であると考えている。

議員 災害用トイレとして、下水道直結型やピット式などを整備する考えはないのか。

市民生活部長 多額の工事費が必要となる課題もあることから、現在備蓄を進めている簡易トイレ等の充実を図りながら、研究をしていきたい。

一般質問

市長マニフェスト

「新あったかプラン」を問う

議員 新あったかプランの中に4年間で10億円以上の借金総額削減、2億円以上の人件費削減とある。今後4年間の財政健全化タイムスケジュールの中で、どのようなアクションプランを考えているか。

総務部長 4年間で10億円以上の借入金総額の削減については、全会計の市債発行総額がこれまで発行した市債の元金償還額や土地開発公社の借入金償還額を上回らないように抑制するとともに、原則先行取得の凍結等による土地開発公社の経営健全化の一層の進展による達成を考えている。

また、人件費については従来からの人件費削減策に加え、住民サービスの確保に配慮しつつ各業務に係る行政需要の変化や行財政運営の状況等を踏まえ、少数精鋭を基本とした職員の定員管理を行い、削減に努力していく考えである。

議員 マニフェストありきで強引に削減すると声なき声、ややもすると見落としがあることもある。賢明な行政運営をお願いしたい。

災害時の連携について

議員 今回の大震災を受けて、災害対策本部と社会福祉協議会等の関係機関との連携はどのようにであったか。

市民生活部長 発災直後から救援物資の提供やボランティア等の問い合わせが災害対策本部へ寄せられたため、社会福祉協議会と協議し、総合社会福祉センターで物資やボラ



ゲリラ豪雨により冠水した国道17号線と中山道本町通り



こばやし りき

ンティアの受付を実施した。

議員 8月のゲリラ豪雨の際、災害対策本部設置などの検討はなされたか。

市民生活部長 当日は急な豪雨により、災害対策本部は設置せず、安全安心推進課、消防本部、都市整備部、市内協力業者などと連携し、市内巡回や土の積み等対応した。

歴史教科書について

議員 新しい教育基本法のもと、2度目の教科書採択が8月にあり、来年度から4年間、市内中学校で使用する歴史教科書が決まったが、蕨市における歴史教科書採択の経緯と結果についてお聞きしたい。

教育長 教科書採択の経緯については、本市を含む4市で構成する採択地区の採択協議会からの最終案を各市の教育委員会と協議し、議決を経て採択となる。結果として本市の属する採択地区は東京書籍の歴史教科書を採択した。

中央第一地区の まちづくりについて

旧旭町公民館跡地の 利用について

議員 現在、中央第一地区は土地区画整理事業の見直しが進められている中、5月に「中央第一地区まちづくりプラン（案）」が示され、その後、権利者に対して意向調査が実施されているが、権利者の意見など、その集計状況はどのようなか。

都市整備部長 意向調査では地区計画の内容についての道路や公園などの地区施設の整備の必要性、店舗型風俗店の建築物の規制、刺激的な色彩の建築物の規制の3項目と新たなまちづくりによる事業転換を図ることについて伺った。現在のところ、約95%の回収状況ではあるが、賛成あるいはどちらかといえば賛成の回答を合わせると全項目でおおむね9割の方から賛同いただいている。また、自由意見欄では事業の転換を早期に求める意見、商店街の活性化や明るいまちづくりを進めてほしいなどといった市への要望等も多くある。

議員 旧旭町公民館跡地は平成28年度から平成29年度に公園に整備する予定ということだが、その見直しはどうか。

都市整備部長 公園整備については平成28年度から平成29年度の予定としているが、事業の実施に当たっては権利者の建てかえに合わせた道路の拡幅整備を行うとともに、財政負担の平準化を図りながら

進めるので、状況によっては前後する可能性もある。

議員 先ごろ、幸いにも事故には至らなかったが、敷地内にある街灯が老朽化によって腐食のため倒れることがあった。子どもたちが利用している遊具も老朽化していると思うが、現在、遊具の管理はどのように行われているか。

事業転換後の旧旭町公民館 並びの駐車場跡地について

議員 旧旭町公民館並びの駐車場跡地は、事業転換後はどのように活用されていくのか。

都市整備部長 この土地については土地区画整理事業に対する国庫補助金を活用して土地開発公社から買い戻しをしているので、具体的な活用については国との協議と合わせながら検討したい。



やまうち としかず

あつたか市政を問う

災害時における安全ヘル メットの着用について



市役所に保管されている災害時用安全ヘルメット

入する場合には多額の費用もかかることから、他の事務事業との優先度を勘案しながら検討したいと考えている。

議員 市職員の安全確保と業務遂行のために安全ヘルメットを一人一人に持たせるべきと考えるが、見解はどうか伺いたい。

市民生活部長 有事の際に職員が果たす役割は大きく、職員の安全確保は市の責務であるため検討していきたい。

災害時における情報伝達 システムの拡充について

議員 消防署で行っている蕨市火災情報のようなシステムを防災行政無線に取り入れて、市民の方から電話をかけていただき情報を確認する。また、メールによる情報の配信は世情に合った情報伝達だと考える。そこで、防災行政無線と並行してメール配信システム、音声自動応答システムを導入する考えはないか。

議員 消防署で行っている蕨市火災情報のようなシステムを防災行政無線に取り入れて、市民の方から電話をかけていただき情報を確認する。また、メールによる情報の配信は世情に合った情報伝達だと考える。そこで、防災行政無線と並行してメール配信システム、音声自動応答システムを導入する考えはないか。

市民生活部長 気象情報や防



おおいし こういち

犯情報、また、市から配信可能なその他の情報も含め、近隣市等の状況を調査しながら今後研究していきたい。

小中一貫教育について

議員 小・中学校教員交流の効果活用と課題をどのようにとらえているのか。

教育長 小学校5、6年を担当した教員が児童とともに中学校に上がることで、担当した児童、保護者は中学校生活への不安が軽減する。また、中学校教員の専門性を小学校の教育に生かすことができ、児童の学力向上につながると考えている。しかしながら、交流する教諭を受け入れる小学校側は本採用教員1名の加配になるが、送り出す中学校側については不足する教諭を一定期間、臨時的任用教員等で補う必要が生じることから、人事上の課題もある中で、今後とも効果と課題について十分に研究したい。

議員 消防署で行っている蕨市火災情報のようなシステムを防災行政無線に取り入れて、市民の方から電話をかけていただき情報を確認する。また、メールによる情報の配信は世情に合った情報伝達だと考える。そこで、防災行政無線と並行してメール配信システム、音声自動応答システムを導入する考えはないか。

特養ホームの増設を 確実にを行うために

議員 特別養護老人ホームの増設に向けて、どのような調査・検討をしているか。県との協議や情報交換はどうか。

健康福祉部長 東京都の補助金は埼玉県よりかなり高く、23区では独自の補助をする区もある。当市においても補助金のみならず、市有地の活用による賃貸条件などについて検討を進めたい。県から、（特養ホームの）整備必要量の照会が年内に予定されている。増設の意向を回答する。

議員 東京の北区も戸田市も市有地を提供している。そのほつが間違ひなく建設が進むよつだ。部長はどう思つるか。

健康福祉部長 そつ思つ。

議員 年内に行われる県の聞き取りまでに、定員についても決める必要があると思つが。

健康福祉部長 その時点までに具体化が必要と思つている。

議員 蕨市が建設用地をどれだけ確保できるかが大事だ。

健康福祉部長 検討している。
議員 土地の確保に全庁で取



西関東大会で金賞を受賞した二中吹奏楽部

小学校全学年での35人 学級の実施について

議員 蕨市は市独自に35人程度学級を実施して、行き届いた教育に努力している。今年度は小学校5年生まで拡大したので、来年度は6年生まで



しむら しげる

拡大してもらいたいがつか。
教育長 その方向で考へていく。

吹奏楽部の楽器運搬費補助 の対象拡大について

議員 小・中学校の吹奏楽部が県内の大会等に参加するときの楽器運搬費は市が補助しているが、県外の大会は補助していない。西関東大会等の県外の大会にも補助すべきだ。
教育長 県外についても、要望とか、相談があれば応じる。

議員 今までの対応とは変えるといつことか。

教育長 はい。この範囲なら出せま

すよといつようなやりとりが出来ると思つ。

ほかに 「レスパイトサービス助成事業の継続」について質問。

一般質問

集中豪雨への対応・ 初動体制の整備を

議員 集中豪雨（8月26日発生）の被害状況と対応は。

市民生活部長 午後3時から4時までに5ミリの雨が集中して降り、床上浸水26件、床下浸水39件、道路冠水88力所などの被害が発生。市内巡回の実施、厳警察署とで市内3力所の車両通行止め、協力業者による土のう積み上げ38力所などの対応をした。

議員 集中豪雨やゲリラ豪雨では降り出す前の早い段階での情報提供が必要だと思つが市の見解は。また、土のうの活用など初動対応で住民の協力が必要と考へるがつか。

市民生活部長 住民への県防災情報メールの周知を促進し、県へは市町村別情報の配信ができるよつ要請したい。また、市単独のメール配信は課題が多く研究する。また、局地的集中豪雨では地域住民の協力が不可欠。土のうを平時から預けるなど、住民自身で即時対応できる方法を検討したい。

議員 具体的な問題として、



冠水した道路への対応が必要（中央5丁目付近）

通行止めの迂回先が冠水し、迂回してきた自動車の波で被害が拡大する地域がある。個別箇所を特定し対応を求める。また、地域を知る地元の主防災会などの協力で、浸水懸念箇所への注意喚起、緊急時への対応などできるよつ検討・要請をしてほしい。

公正な公契約のあり方

議員 市が発注する公共工事や委託事業で、低価格競争に



すすき さとし

よる不当な低賃金、労働条件の悪化などが起こつてはならない。公正・適正な入札・契約を実施するため「公契約条例」の制定が必要ではないか。
総務部長 人件費などは把握していないが、各種書類の提出を求め配慮している。条例化は国全体の問題として法整備などの措置を講ずる必要がある、国の動向などを注視し研究したい。

議員 当面、文書による指導や建設業退職金共済関連の報告書を改善するなど対応を。

総務部長 ホームページ等で労務単価を周知し、建退共実績報告書に個人名を記載させ、下請けを含めた労働実態を把握するよつ改善を図りたい。

議員 改善は評価する。今後、実態把握と改善が進むよつ、この分野でのさらなる調査や協議などを求める。

ほかに 「留守家庭児童指導室の改善」「犬のマーキング対策」「交通問題」について質問。

蕨市地域防災計画について



塚越小学校で行われた避難訓練

所運営マニュアルも検討する。

議員 災害時要援護者支援制度の取り組みと今後の課題はどうか。

市民生活部長 本年6月に災害時要援護者支援システムを導入し、登録している要援護者の情報と地図情報は把握できる。今後は名簿登載の意向調査の継続と名簿の整備を進めていきたい。

議員 小・中学校における防災教育の強化と家族防災会議の実施についてはどうか。

教育部長 防災教育は大地震や災害に際し、安全に避難できるための実践的な態度や能力を養うことを目的として行われている。しかし、東日本大震災を受け、各学校では防災マニュアルの見直し、緊急地震速報を利用した避難訓練等を実施、計画している。教育委員会としては新しいマニュアルを作成し、危機管理体制の充実を図りたい。家族防災会議については、家族で災害時の家庭の避難場所や避難経路等を話し合うことなど、家族防災会議の大切さを児童・生徒や保護者に周知するよう指導していきたい。

議員 道路の冠水、家屋の浸水など同じ箇所での被害を受けている実態調査及び対応、検証はされているのか。

ゲリラ豪雨対策について

議員 道路の冠水、家屋の浸水など同じ箇所での被害を受けている実態調査及び対応、検証はされているのか。

都市整備部長 8月26日の集中豪雨では、1時間で約5ミリの降雨量となり、床下39件、床上26件、道路冠水88カ所の被害があった。雨が降り出した直後から、市内パトロールを実施し、出水状況を確認するとともに、土のうの配布を行うなど、被害の軽減に努めた。今回を教訓とし、さらなる浸水対策に努めたい。

議員 冠水センサーの設置、監視システムの導入は図れないか。

都市整備部長 浸水状況を住民に伝えることは重要であり、今後の研究課題としたい。



たかはし えつろう

あつたか市政を問う

中学校へのエアコン設置について

議員 中学校へのエアコン設置に向けたスケジュールはどのようになっているのか。

教育部長 今年度エアコン整備を実施した小学校での実績を総合的に勘案すると、来年7月までにエアコンを稼働させるためには、中学校のエアコン設置では予算の前倒しも視野に入れる必要があるものと考え、調整を図っている。

環境面・光熱水費を考慮したエアコンの動力源について

議員 中学校に設置予定のエアコンにつき、その動力源をどのように検討しているのか。

教育部長 維持管理の点では、使用期間中の保守点検項目が少ない等の理由から電気方式を選択することで費用面での低減化が図れる。また、電力の供給不足等を考慮した場合では、ガス方式はガスと電気

の併用方式であるため、使用エネルギーの平準化が図られる。いずれにしても、すべての小学校での設置完了後に、



小学校の全普通教室に設置されたエアコン（北小）

議員 8月に閉会した通常国会で成立した「歯科口腔保健推進法」に基づき、本市で想定される事業、施策は何か。

健康福祉部長 国は施策の総合的実施のための方針や計画など、基本的な事項を策定、公表することとされ、地方公共団体においては、国との連携を図りながら、地域の状況に応じた施策を展開することが規定されているので、今後示される国、県の施策に沿った事業の実施に向けて努めてまいりたいと考えている。

議員 成人に対する歯周疾患検診の受診率向上にどのような取り組みを考えているのか。

健康福祉部長 この検診を受ける必要精密検査の方が8割を超えるため、大変大事だと考えている。該当年齢の方には直接通知しているので、今後内容を工夫して努力したい。

ほかに 「蕨市歴史民俗資料館における調査研究事業」「蕨市立病院における小児医療の充実」について質問。



おおしま こういち

歯科口腔保健の推進について

放射能問題について 市の対応を問う

議員 放射線測定器による市内での詳細測定と測定結果の公表は、測定結果からみた市の対応はどうか。

市民生活部長 測定箇所は市立小学校、市立中学校、市立保育園、市内公園等において実施。市HPに測定日毎に掲載。公共施設に掲示。市が独自に定めた年間1ミリシーベルトを超えていないが、引き続き測定を行い監視していく。

議員 市民からの要望箇所の測定はどのように行われているか。また、放射能問題への



今後も継続して行われる放射線測定（みどり保育園）

市民の相談についてはどう対応しているか。

市民生活部長 9月1日より公共性を有する施設等への個別の空間放射線測定を実施。測定予定日は毎週火曜で1測定日当たり最大4件まで、測定方法は職員が該当地点を測定し、後日、申込者へ結果を通知するもので測定依頼は3件（9月27日現在）となっている。放射能問題への市民の相談のうち、測定結果に関するお問い合わせは安全安心推進課で回答しているが、放射線の影響に関する専門的な質問・健康相談等については埼玉県の健康相談窓口（川口保健所）を紹介している。

議員 学校給食の食材への安全性の確保はどうか。他市では食材の測定が始まっているが、蕨市ではどういう対応がとれるか。

教育部長 早急に方策を考える。

議員 水道水の検出限界値の公表はできないか。



やまわき のりこ

水道部長 本市の水道水の下限値は7.1〜10ベクレルである。逆に不安を与えるといけないので公表は差し控える。

議員 市民の安全を守る立場から原発に対しての市長の見解を聞きたい。

市長 原発からの脱却をしていくことが必要だと思っている。放射線から子どもたちの健康を守るために最大限努力する。

太陽光発電補助制度の新設について

市民生活部長 平成24年度より実施し、補助対象機器については、太陽のエネルギーを使って発電する太陽光発電システムのほか、太陽熱温水器、高効率給湯器など本市独自の補助事業となるよう幅広く検討。補助額は近隣各市の状況等を参考に検討する。

ほかに 「夜間ごみ持ち出し禁止の徹底」「学校校舎体育館の耐震化と施設改修」「学校でのメール配信」について質問。

一般質問

給食の食材について 市独自に放射線量の測定を

議員 流通している食品についての認識は。

市民生活部長 流通している食品については安全だと認識している。

議員 そうではないという指摘もある。川口市では給食の食材について独自検査を始めるとのことだが、蕨でも、せめて給食食材の独自検査ができないか。

教育長 早急に方策を検討したい。

議員 現在行っている空間放射線の測定について、測定箇所を増やす考えはないか。

市民生活部長 学校・保育園・公園などのほか、市民の方から要望のあった箇所を週1回、1日4件まで測定している。

議員 それだけではなく、側溝など比較的高い数値が出ると思われるところをもっと測定するよう要望する。また、測定等にかかった費用を東京電力に請求する考えはないか。

市民生活部長 埼玉県や他市の状況を見て考えたい。



雨水調整池築造工事が始まったわらび公園

北町1丁目 雨水調整池について

議員 8月26日の大雨は1時間に75ミリの降雨量であった。北町1丁目わらび公園地下に作る雨水調整池は1時間に55ミリまでの強度とのことだが、大雨に対する効果はどれほどか。

都市整備部長 確かに1時間に55ミリの強度だが、浸水状況の軽減が図られると考えられる。



えのもと かずたか

議員 すでに公園の解体工事が始まっているが、騒音・振動対策を十分に行っていたきたい。

都市整備部長 できるだけ軽減させるよう検討する。

議員 通学時など、大型車の通行時の安全対策に十分な配慮をお願いしたい。

非正規雇用職員について

議員 私は毎年5月1日にメーデーに参加する。頼高市長は来賓として良い待遇を受けているように思われるが、参加者などが主張している「最低時給を千円に」ということを、まず自らの自治体から実施していく考えはないか。

総務部長 考えていない。

ほかに 「特定規模電気事業者（PPS）からの電力購入」「学校土曜塾」「ボールで遊べる公園の整備」などについて質問。

錦町土地区画整理事業の更なる推進を



区画整理事業で整備されたわらびりんご公園で遊ぶ子どもたち

なかつた。線越明許について

は、権利者の意向であるとか都合によって、平成23年度に確実に移転できるかわからないので、できない。

議員 春日地区において定期的に進捗説明会を開いていたいただきたいが見解はどうか。

都市整備部長 機会を見計らいながら、住民の方々に説明をしていきたいと考えている。

議員 市長も参加して、直接対象地区の住民に語りかけていただけませんか。

市長 私が出ることが、権利者の皆さんの思いに沿うものであれば、お伺いしたい。

議員 市長の「新あつたプラン」における区画整理事業進捗の数値目標はどのようか。

市長 現実的な目標としては5年間で150戸という1つの目標を掲げているので、これをやり切っていく。また、何とかやり切るといいうことを最大限努力していくことが、市長としての区画整理に対するスタンス、取り組みの方向だと

考えています。また、何とかやり切るといいうことを最大限努力していくことが、市長としての区画整理に対するスタンス、取り組みの方向だと

考えています。また、何とかやり切るといいうことを最大限努力していくことが、市長としての区画整理に対するスタンス、取り組みの方向だと



ほや たけし

理解していただきたい。

見沼代用水の水辺の整備環境について

議員 本市として何らかの抜本的な対策をとることも必要と考えるが見解を聞きたい。

都市整備部長 管理主体は見沼代用水土地改良区であり、当面は環境整備をお願いする。

また、見沼代用水の移設等、いろいろな管理の在り方等々について検討、協議したい。

市立病院の経営改革について

議員 経営改革プランスタートから2年半努力しても常勤医師拡大が難しい状況の中で、緊急医療・2次医療への特化、常勤医師が確保できていない診療科目の廃止、現状130の病床数の削減に踏み込むかどうかの検討が必要ではないか。

市立病院事務局長 救急医療を含めた2次医療をこれからも提供し続けていくための病院経営改革を続けていきたい。

また、何とかやり切るといいうことを最大限努力していくことが、市長としての区画整理に対するスタンス、取り組みの方向だと

考えています。また、何とかやり切るといいうことを最大限努力していくことが、市長としての区画整理に対するスタンス、取り組みの方向だと

考えています。また、何とかやり切るといいうことを最大限努力していくことが、市長としての区画整理に対するスタンス、取り組みの方向だと

あつたか市政を問う

議員派遣報告

第73回 全国都市問題会議

都市の魅力と交流戦略

～地域資源×公共交通～地域活性化～

地域資源と公共交通網の活用による地域の魅力向上と、それに関わる住民や行政のあり方を考える。

10月6・7日の2日間に行なり、全国各地より市長・市議会議員・市職員等が参加し、都市の抱える問題について議論する「第73回全国都市問題会議」が、鹿児島県鹿児島市で開催されました。

今回の会議は「都市の魅力と交流戦略」～地域資源×公共交通～地域活性化～をテーマに、講演やパネルディスカッションを通して、観光資源の有効活用と交通インフラの整備による人の流れの確保をいかに結び付け、地域の活力に発展させるか、またそれに住民や行政がどのように関わっていくべきか等について、活発な議論が展開されました。



また、佐藤真一（株）バリュー・クリエーション・サービス代表取締役からは、地域資源の観光資源化、「良いモノ」（行政的・主観的視点）から「売れるモノ」（市民的・客観的視点）へ「物づくり」から「物語づくり」への発想の転換、観光事業における中間支援組織の役割と重要性等についての報告がなされました。

その他の報告の中でも、九州を東アジアの中心拠点とする新たな観光ルートの創造、地域資源としての食文化の情報発信、行政経営と地域経営、

フィルムコミッション事業とその波及効果等についての提言や報告がなされました。

翌日のパネルディスカッションでは、各パネリストが専門的視点から地域活性化をキーワードに、地域資源の商品化、地域資源の組み合わせ方とその活かし方、ホスピタリティと情報発信力、地域内のキーパーソンを中心とした地域ビジネス、九州新幹線全線開業の意義等についての議論を展開して議論を深めました。

また、佐藤真一（株）バリュー・クリエーション・サービス代表取締役からは、地域資源の観光資源化、「良いモノ」（行政的・主観的視点）から「売れるモノ」（市民的・客観的視点）へ「物づくり」から「物語づくり」への発想の転換、観光事業における中間支援組織の役割と重要性等についての報告がなされました。

また、佐藤真一（株）バリュー・クリエーション・サービス代表取締役からは、地域資源の観光資源化、「良いモノ」（行政的・主観的視点）から「売れるモノ」（市民的・客観的視点）へ「物づくり」から「物語づくり」への発想の転換、観光事業における中間支援組織の役割と重要性等についての報告がなされました。

また、佐藤真一（株）バリュー・クリエーション・サービス代表取締役からは、地域資源の観光資源化、「良いモノ」（行政的・主観的視点）から「売れるモノ」（市民的・客観的視点）へ「物づくり」から「物語づくり」への発想の転換、観光事業における中間支援組織の役割と重要性等についての報告がなされました。

また、佐藤真一（株）バリュー・クリエーション・サービス代表取締役からは、地域資源の観光資源化、「良いモノ」（行政的・主観的視点）から「売れるモノ」（市民的・客観的視点）へ「物づくり」から「物語づくり」への発想の転換、観光事業における中間支援組織の役割と重要性等についての報告がなされました。

また、佐藤真一（株）バリュー・クリエーション・サービス代表取締役からは、地域資源の観光資源化、「良いモノ」（行政的・主観的視点）から「売れるモノ」（市民的・客観的視点）へ「物づくり」から「物語づくり」への発想の転換、観光事業における中間支援組織の役割と重要性等についての報告がなされました。

また、佐藤真一（株）バリュー・クリエーション・サービス代表取締役からは、地域資源の観光資源化、「良いモノ」（行政的・主観的視点）から「売れるモノ」（市民的・客観的視点）へ「物づくり」から「物語づくり」への発想の転換、観光事業における中間支援組織の役割と重要性等についての報告がなされました。

また、佐藤真一（株）バリュー・クリエーション・サービス代表取締役からは、地域資源の観光資源化、「良いモノ」（行政的・主観的視点）から「売れるモノ」（市民的・客観的視点）へ「物づくり」から「物語づくり」への発想の転換、観光事業における中間支援組織の役割と重要性等についての報告がなされました。

また、佐藤真一（株）バリュー・クリエーション・サービス代表取締役からは、地域資源の観光資源化、「良いモノ」（行政的・主観的視点）から「売れるモノ」（市民的・客観的視点）へ「物づくり」から「物語づくり」への発想の転換、観光事業における中間支援組織の役割と重要性等についての報告がなされました。

また、佐藤真一（株）バリュー・クリエーション・サービス代表取締役からは、地域資源の観光資源化、「良いモノ」（行政的・主観的視点）から「売れるモノ」（市民的・客観的視点）へ「物づくり」から「物語づくり」への発想の転換、観光事業における中間支援組織の役割と重要性等についての報告がなされました。

また、佐藤真一（株）バリュー・クリエーション・サービス代表取締役からは、地域資源の観光資源化、「良いモノ」（行政的・主観的視点）から「売れるモノ」（市民的・客観的視点）へ「物づくり」から「物語づくり」への発想の転換、観光事業における中間支援組織の役割と重要性等についての報告がなされました。

また、佐藤真一（株）バリュー・クリエーション・サービス代表取締役からは、地域資源の観光資源化、「良いモノ」（行政的・主観的視点）から「売れるモノ」（市民的・客観的視点）へ「物づくり」から「物語づくり」への発想の転換、観光事業における中間支援組織の役割と重要性等についての報告がなされました。

常任委員会 視察報告

総務常任委員会

○日程

平成23年11月8日～9日

○視察地

京都府城陽市
京都府長岡京市

○調査内容

「城陽市地域安心安全情報共有システムについて」
「長岡京市立総合交流センター内施設指定管理者制度導入事業について」

○調査報告

城陽市ではインターネットや携帯電話を使い、防災や防犯情報を市民と共有し、安心安全な地域社会の確立を目的として、地域安心安全情報共有システムを導入しました。利用者は約2千人で日常の防犯に関するお知らせを中心に利用されています。

長岡京市では駅西口再開発事業で新設された複合施設市立総合交流センターの各運営を管理委託し、利用時間や事業内容の充実に努めています。センター内には「市民交流フロア」「中央生涯学習センター」「教育支援センター」など8つの施設があり、多くの市民に利用されています。



環境福祉経済常任委員会

○日程

平成23年11月15日～16日

○視察地

山口県宇部市
山口県周南市

○調査内容

「障害者就労ワークステーションについて」
「エコチャレンジ市民節電所事業について」

○調査報告

宇部市は、障害者雇用の確保と市の事務作業の効率化を目的に、役所内に「障害者就労ワークステーション」を開設。毎年、臨時職員を3～4名採用。勤務時間は8時30分～16時30分。仕事内容は、パソコンのデータ入力や、市の各課から依頼を受けた定型的な事務処理で、最長2年間働けるとのことでした。



周南市の「エコチャレンジ市民節電所事業」は、地球温暖化を防止するため、家庭での電気使用量を節減するグループや個人に節減割合に応じた活動支援金等を支払う事業で、節電のための様々なアイデアが出されていました。

教育まちづくり常任委員会

○日程

平成23年11月9日～10日

○視察地

福岡県大野城市
福岡県八女市

○調査内容

「図書館運営について」
「小中一貫教育について」

○調査報告

大野城市の図書館は約22万冊の蔵書数を有し、年間315日開館しています。「わくわく号」という移動図書館を運行したり、開館時間を金曜日のみ1時間延長することで、利用者のニーズにえています。また、図書館運営は指定管理者制度を導入したことにより、経費が大幅に削減されたとのことでした。

八女市では小中一貫教育として、平成21年4月に「上陽北^{ほくざい}学園」を開校しました。小中一貫教育は、義務教育9年間を見通した教育活動等と学習・生活指導面においての効果等が期待されています。また、「礼節・ことば科」という学校独自の教科を創設して、指導を行っていました。



12月定例会の日程(予定)

11月28日(月) 開 会	12日(月) 一般質問
30日(水) 質 疑	13日(火) 〃
12月1日(木) 委員会	14日(水) 〃
2日(金) 〃	16日(金) 閉 会
5日(月) 〃	

傍聴に来てみませんか？

※議会の都合により日程は変更になる場合があります。
【問い合わせ】4階議会事務局 電話(433)7733(ダイヤルイン)

市議会ホームページをご利用ください

市議会のしくみや市議会議員の紹介、過去の定例会・臨時会の会議録などが、ホームページでご覧になれます。お気軽にご利用ください。

○ホームページの利用方法

市議会のホームページは、蕨市のホームページ (<http://www.city.warabi.saitama.jp>) とリンクしています。まず、蕨市のホームページをお開きください。次に、蕨市議会をクリックすると、簡単にご覧になれます。

編集後記

3月11日に発生した東日本震災からの復興に向け、いま人と人とのつながり「絆」が、あらためて見直されるようになりました。

今回の議会だよりの表紙でも、わらびネットワークステーションに登録して、市内で活動されている市民団体のみなさんが大事に育んできたつながり「絆」を紹介させていただきました。

また、私たち議員の議会活動も、市民のみなさんとのつながり「絆」があつてこそ仕事です。市民のみなさんとのつながりを大切にしながら、気持ちをあらたに議会活動に取り組んでまいります。

議会だより編集委員会

委員長
副委員長
委員

比企 孝司
山脇 紀子
大石 幸一
大嶋 公一
榎本 和孝
今井 良助
池上 智康